

つるぺた
貧乳
がりがり
無毛交尾！

ちっぱい乳首！

パイパン小娘

おがわ甘藍「夏のまほう」
紫色雁行「秋の夜の淫夢」

水上蘭丸「おしやまな双子」
海野螢「渚の分岐線」
八的暁「冬を待ちながら」
おがわ甘藍「絵麻・ネルソンと禁断の林檎」

娘
ベタベタ
ビッチ！

ぺたん娘ビッチ！

CONTENTS

『夏のまほう』

おがわ甘藍

『秋の夜の淫夢』

紫色雁行

『おしゃまな双子』

水上蘭丸

『渚の分岐線』

海野螢

『冬を待ちながら』

八的暁

『絵麻・ネルソンと禁断の林檎』

おがわ甘藍



夏の日射しは
魔法みたいだ

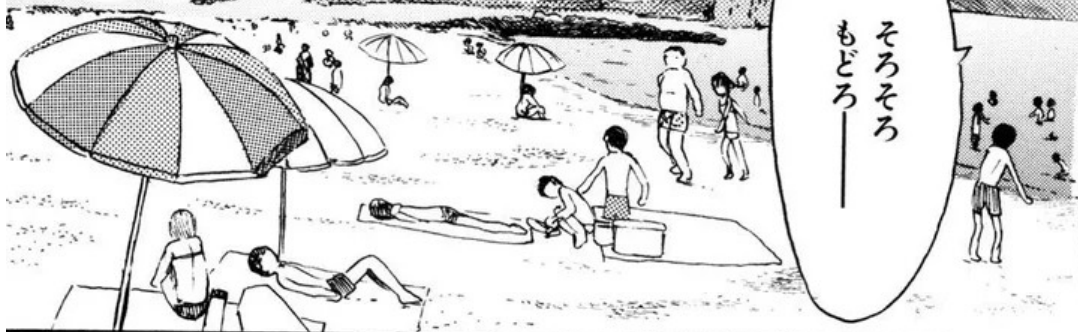
畑の小さな実も
みるみるぶくらんで
いく

おーい 康太ちゃん
めぐちやーん

そして私たちも――

夏のまほう

そろそろ
もどろ――



あー楽しかったー
かずみお従姉ちゃんも
泳げばよかったのねー

うんうん







あ水ヨーカン
あるって
レーゾーコ

そうよ

ホント？
じゃー二階に
持ってって食べるー



お父さんたちはー
まだ釣りー？



お姉ちゃん
ただいま♡

あおかえり



お姉ちゃんはさ
胸ふくらんできたから
水着着るのが
恥ずかしいんだよネ

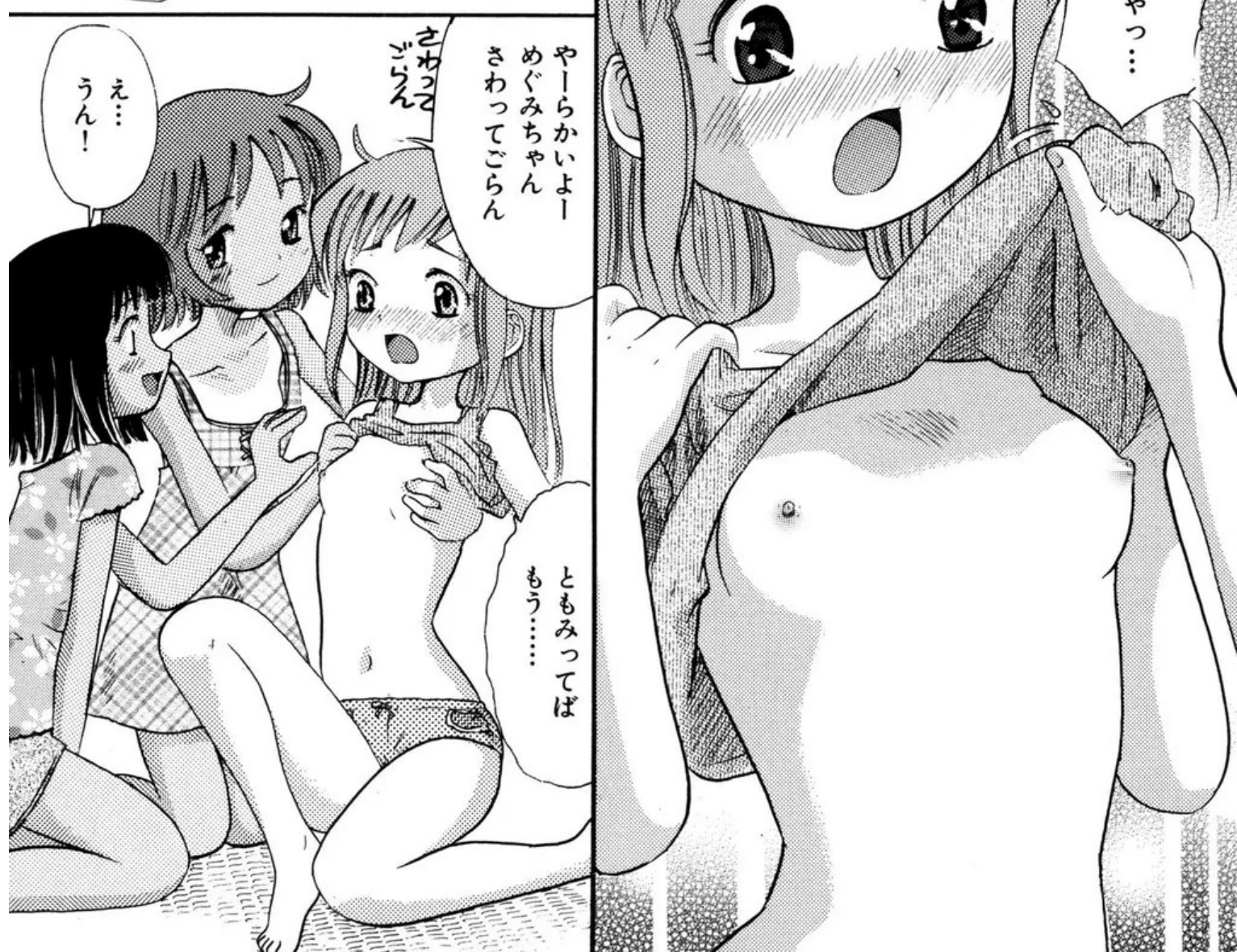


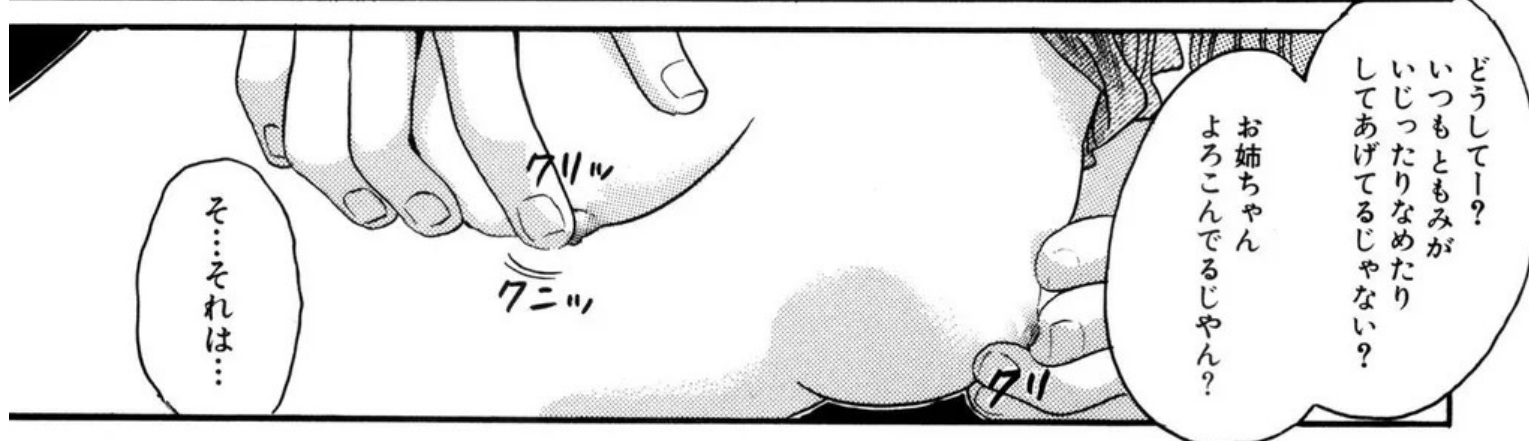
クラゲ出た？

だからカズミ
お従姉ちゃんも
来たらよかったのにー

ううん

プォーッ





お姉ちゃん
ほんとに困ってるん
だから

ともちゃんが胸さわる
せいで洋服にこすれる
だけで変な気持ちに
なっちゃうし〜

あー足閉じちゃ
ダメだよー

あっ何か
おまたの真ん中が
ピクピクしてる

お豆みたいな
ところ

あ…
あんっ

や…見ないで

おねがい…





や…やめて
力抜けちや…

ひゃうっ



チクビいじると
そっちのオマメが
ビクビク動くから
見てて

イクッ

イクウ



わっ…ぴゅって
おしっこ出てきた

ピュ

ピュ



ほんとだー

ああんっ

プシユル



見ないで…

カク

カク

カク

見ちゃ
いやっ…

あ…
あ…あ…

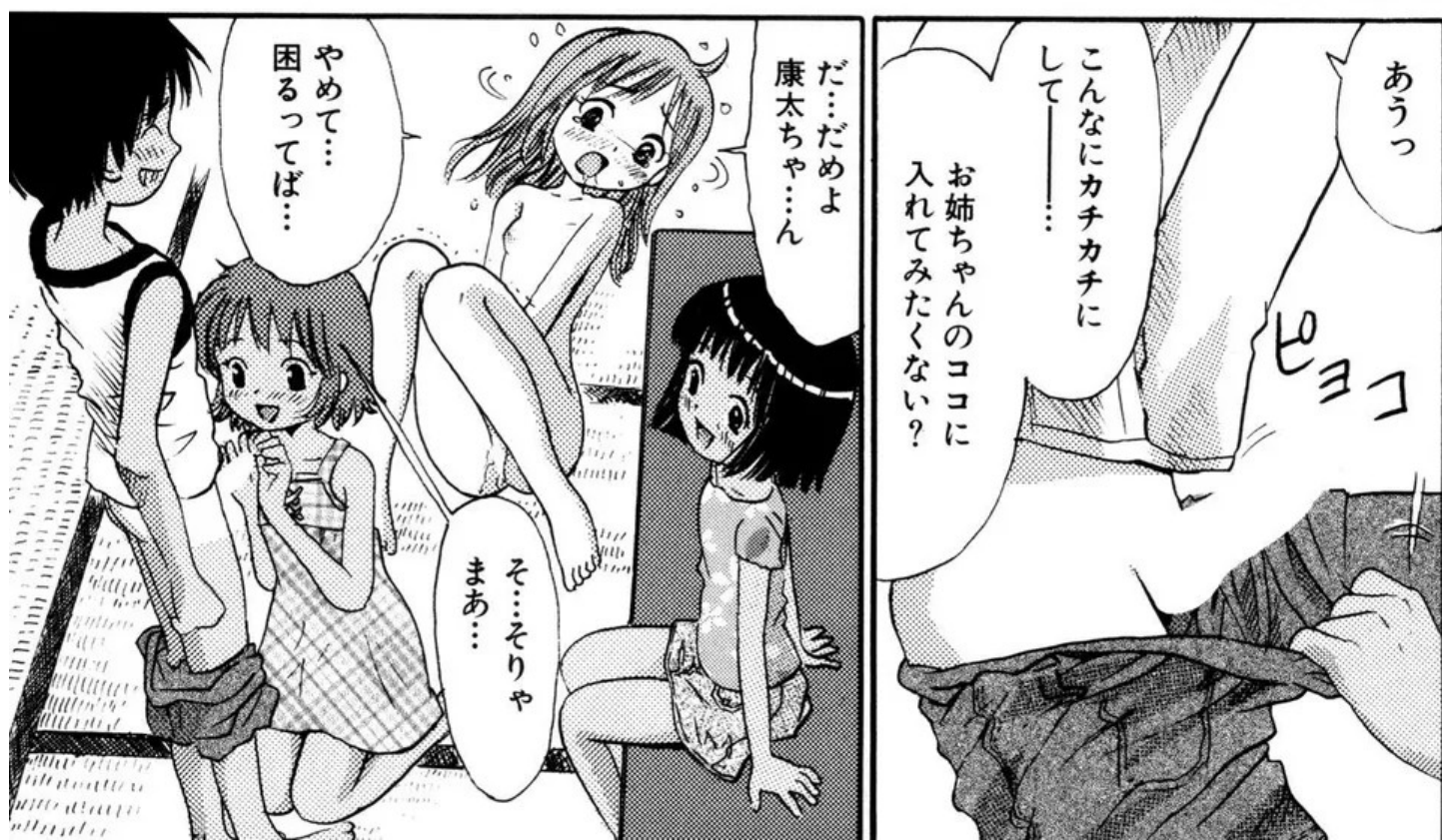
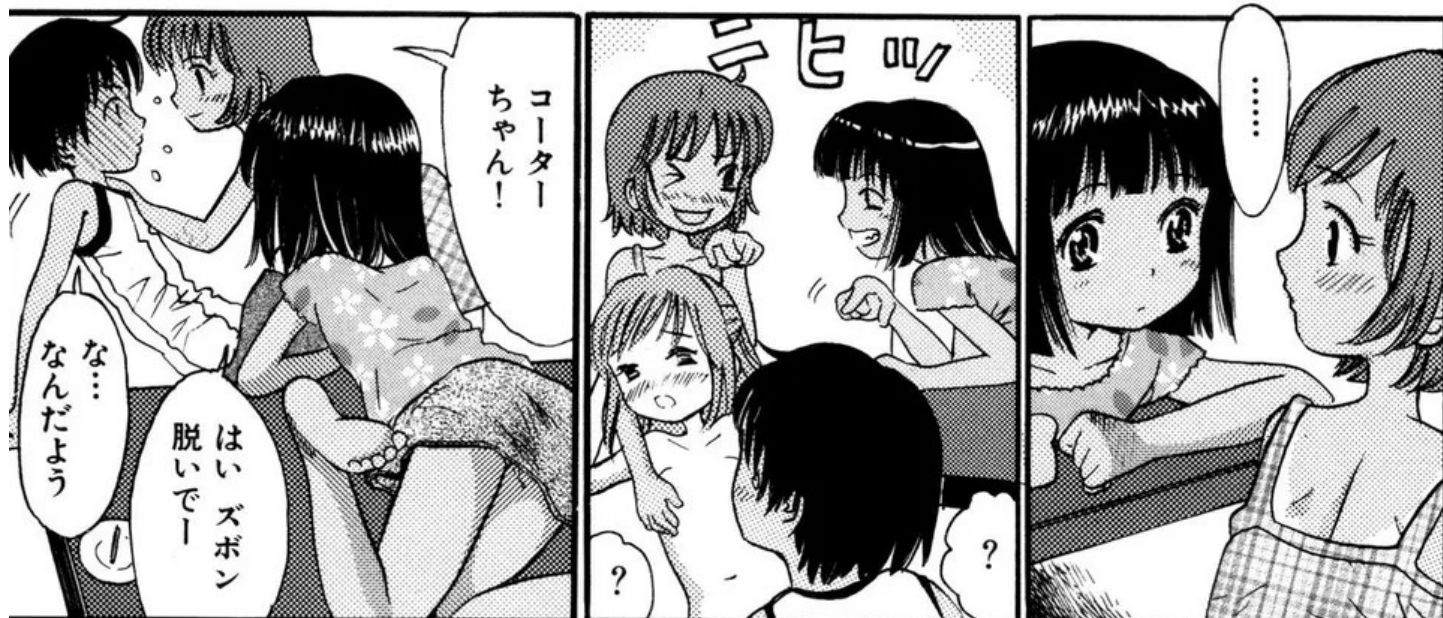
あっ…ああっ
ダメっ…そこ
さわったらいっ…

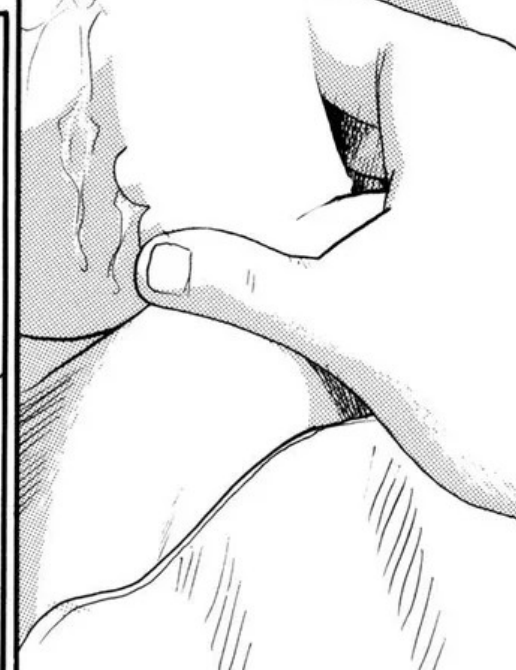


ピョ

プシユル

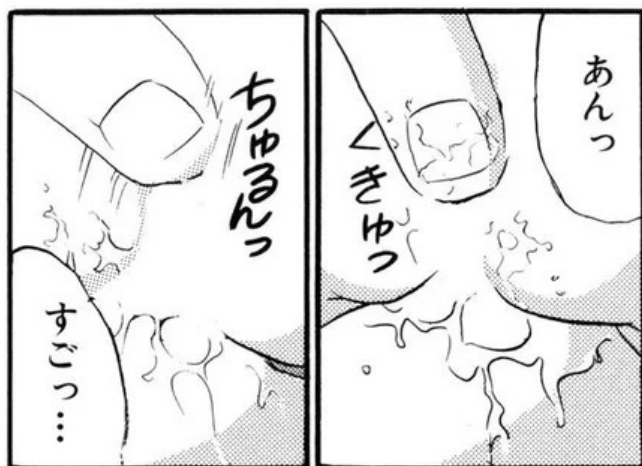














あ...

あ

う

LUCKY
SUN

ヒッ
ヒッ



どうしよう
ツイてないなあ

ガタン

あそこにいるの
生徒指導部の
鬼塚先生だ…

ガタン
コトン

テスト休み
だからって

ハメを
はずして
夜遊びしてたの

23:02

どうか見つかり
ませんように…

ゴクッ

ガタン
ゴトン

もしかして…先生

え…!?



夢の淫夜の秋







フッフ
悪い子には
オシオキして
あげないとね

はあ

や…
やめて…

はあ



おや…ひよつとして
鬼塚先生の
教え子なのかな？

せ…
先生…
助けて…

はあ

はあ

はあ

助けを呼んでも
無駄だよ

はあ



ホラ
見てごらん

先生が
あんなに
喜んでる



すっぽ

あっ...

いやあ...ん
だ...駄目え♡

110ッ

あん

いい♡

110ッ

はっ

はっ

110ッ

110ッ

あ

あ

あっ

あ

あ

はっ

いいっ...

あっん♡

あ

110ッ

あ

はっ

あっ
すごい♡

あんっ

はっ

110ッ

110ッ

110ッ

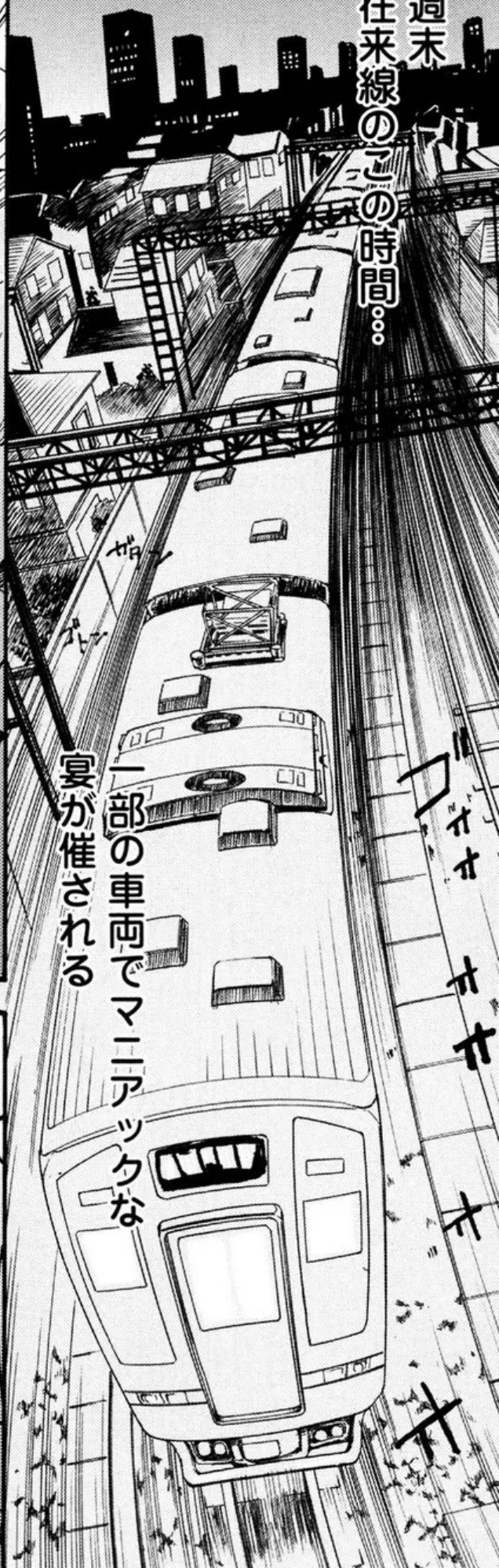
110ッ

先生...

いいわあ♡

オチンポ
いいっ♡

毎週末
某在来線のこの時間……



一部の車両でマニアックな
宴が催される

あつ

ずい

あ

10-ハッ

あん♡

10-ハッ

ちゅ

あつ

ずい

ずい

乗客のほとんどが
痴漢・のそぎ・露出
乱交等……



あは♡

これらの
変態行為を
求めて
乗車しているの
だとか……





ひゃうっ!!

ほうら…
ちゅちゅなオマ○コに
指が入っちゃった

コドモでも
気持ちよくなれる
エッチなクスリ

たっぷり
塗ってあげる
からね



わ…私
知らなかったん
…です

いやっ…
オジさんの太くて
汚い指が…

お願い…
許して…

私の中に
入ってるよお
…!



やれやれ
この少女

この年齢で
初めてじゃない
のか

まったく
近頃の若い娘と
きたら…

私…電車の中で
エッチしてる…

いやあ…オジさんのチンチン…
入ってる…

だめえ…私も

いつちやううつ…!!

や…やだこのオジさん…
私の中に…しゃせーしてる…

あたし…赤ちゃん
妊娠しちゃうよ…



結局この日
私は何人もの
知らない
オジさん達と
せつくすして

何度も何度も
イカされちゃった
のでした



先生
すごくキレイ
でした…

生徒指導室

そう？
ありがとう…

ね…
高城さん

あのことは
絶対他人に
しゃべったりしちゃ
ダメよ

そのかわり
…んっ

いっぱい
気持ちいいこと
してあげるから…

あっん

んっ

はっ

んっ

…はい
約束します









せ…
せんせい…

由奈もお尻の穴
気持ちいいっ!!

あっイクッ

いつちゃうっ
……!!



あつ
すごいわ♡
肛門に
オチンチンが!!

いいっ♡

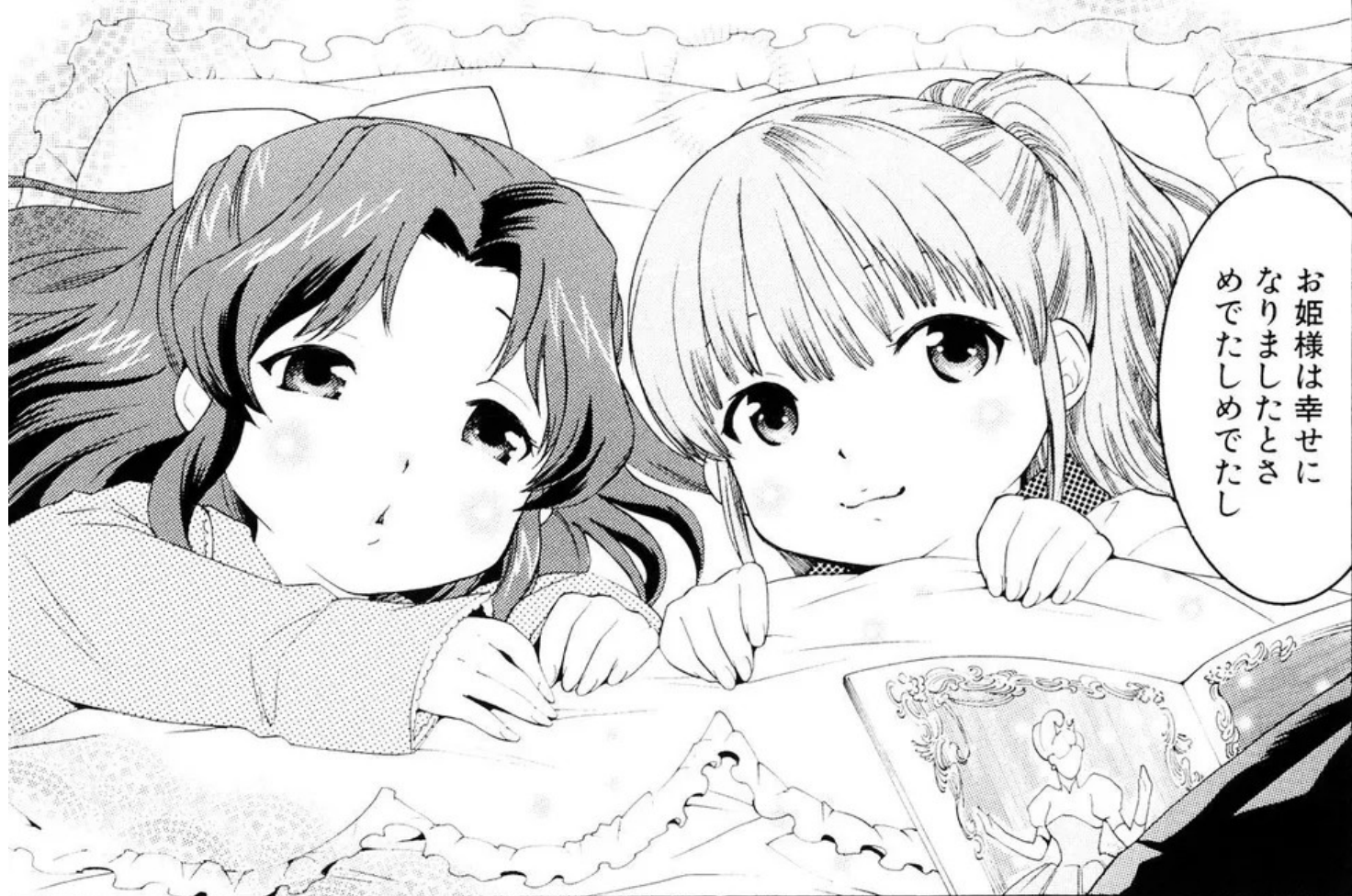
いいわッ♡

お尻
すごくいいッ♡

END

私には…
わかりません

この淫夢が
いつまで続く
のかは…



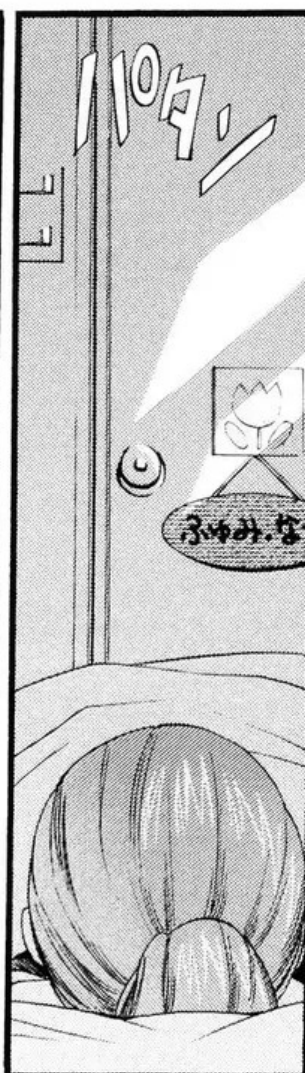
お姫様は幸せに
なりましたとさ
めでたしめでたし



行ったわ

冬美ちゃん
起きてー

う~~~~ん
もう眠いよう



バタッ

ふゆみ.な



じゃあもう
寝るんだぞ

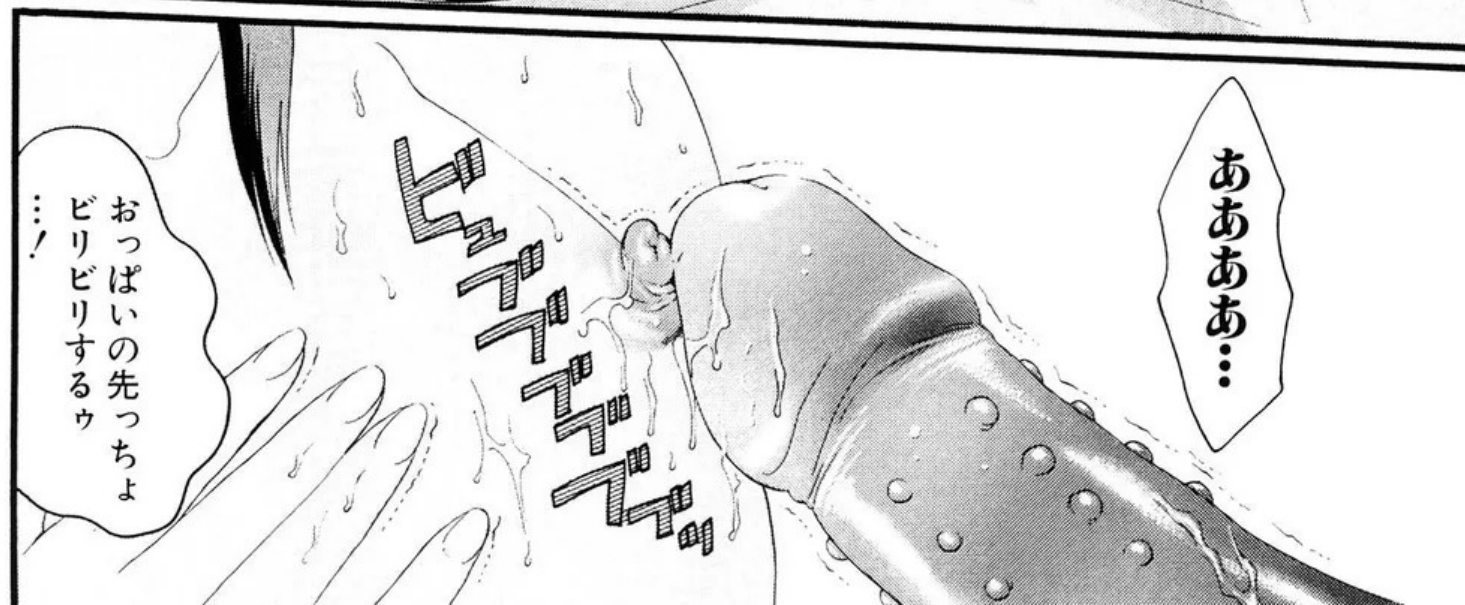
はいパパ!

ふゆみ.な

おしゃまな双子











冬美ちゃん
何か丸いものが
プクプクしてきたよ!

あひっ

あひん♡



ムムム

ムムム



冬美ちゃんのおマタ
すっごい濡れてるよ?

冬美達のおマタ
おかしく
なっちゃったの?

くちゅ♡



夏子のおマタも
何だか熱く
なってきた...

夏子ちゃん

頭が：頭が
変になっちゃう！

夏子ちゃん：
お豆がビクビク
するよウ！！

パパあ！！

どうした！？
冬美！！

ビクビク

ビクビク

ビクビク

70
70
70

70
70
70



何やってるんだ
おまえ達!!!



こ...
これは...

おめえ
おめえ
おめえ



私達その
オモチャの研究
したかったの…

パ…パ
ごめんなさい…



こんな物の研究
するんだったら

カチ
カチ



そしたら
何だかお母が
おかしくなってきた…

それで…



本物の研究
しなさい!!!

ビーン!!

何はともあれ
二人ともおしおきだ！
おしりパンパンだ！

おしりをこっちに
向けなさい！

テン、

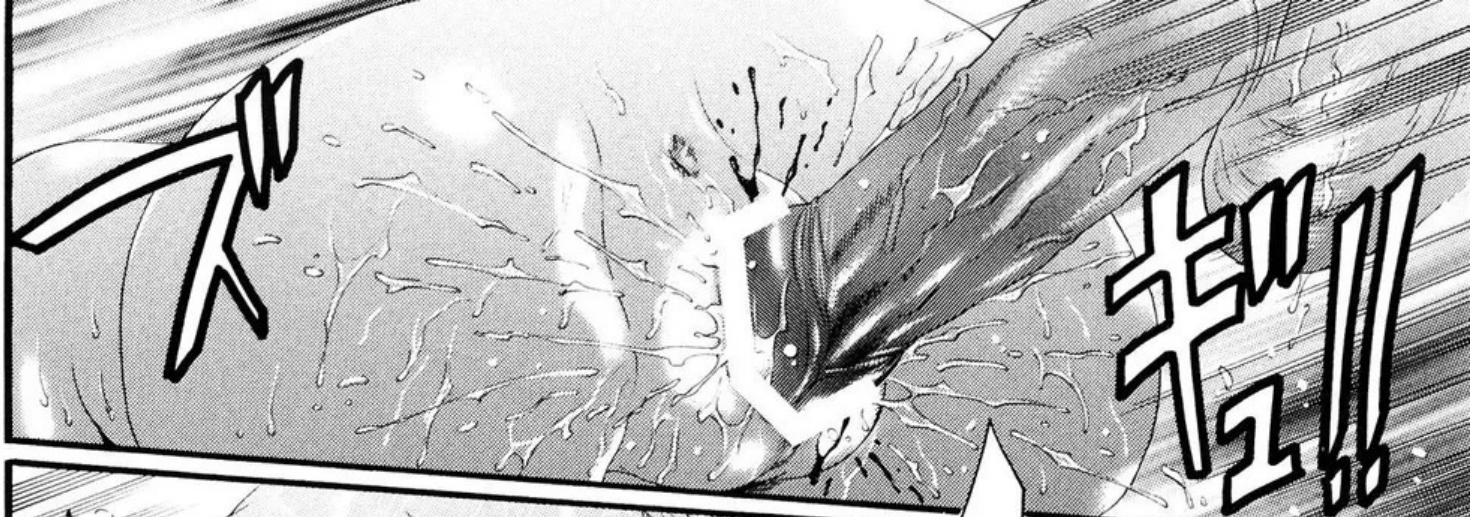
二人一緒に
おしりパンパン
なんて

パパ…

なんだか
おかしいね！

グッ！





おまえ達の
小さいオマンコに

あく♡

んん

精液ぶち
まけるぞ!!







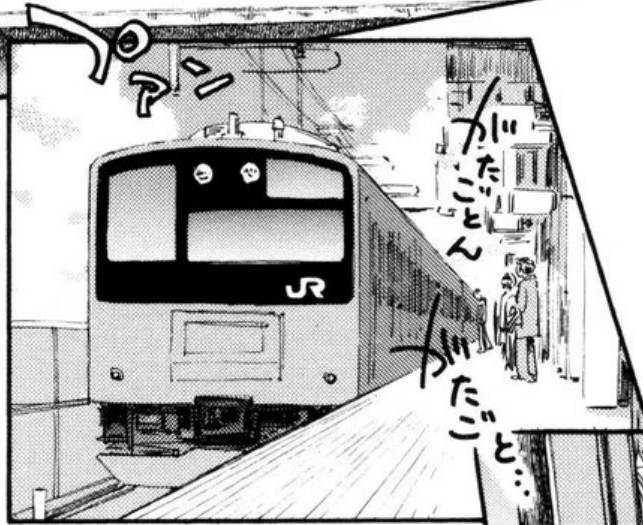
そ……
そうよね！
夏子ちゃん

明日に備えて
早く寝ましょ！
冬美ちゃん

END



いつもの
駅だけど



今日は
いつもより
一本早い電車





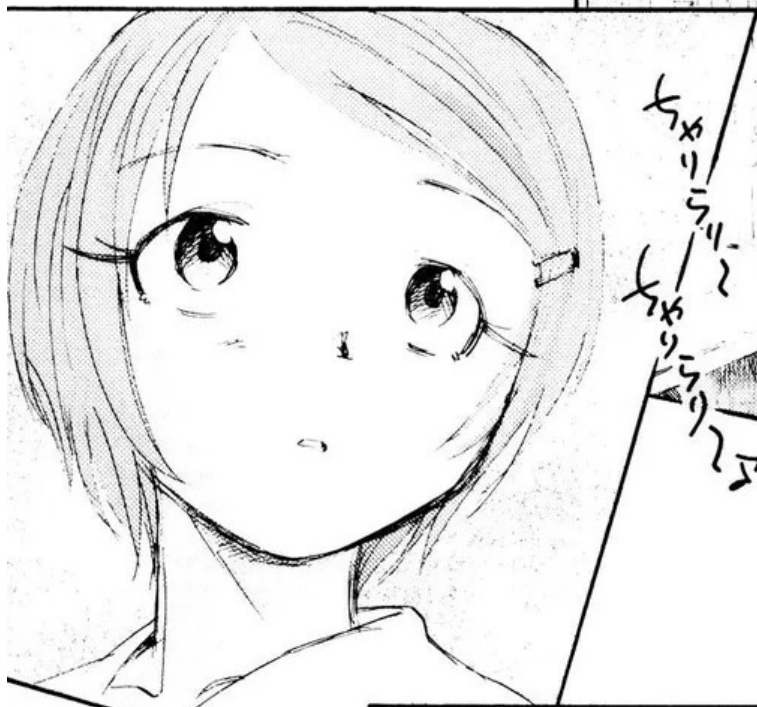
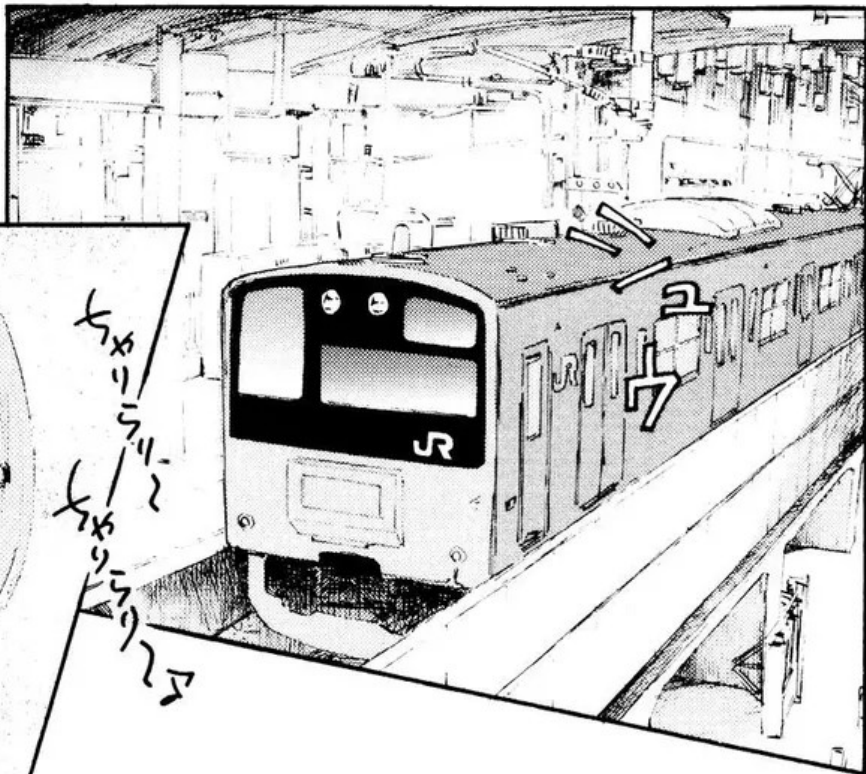
A black and white manga illustration featuring two young women in school uniforms. They are positioned behind a window, looking out. The girl on the right is in the foreground, her hands clasped near her face in a contemplative or shy pose. She has short, light-colored hair and is wearing a sailor-style uniform with a dark tie. The girl on the left is slightly behind her, also looking out the window. The background outside the window shows a cloudy sky. In the bottom left corner, there is a small inset illustration of a train car with a person visible through one of the windows.

渚の分岐線

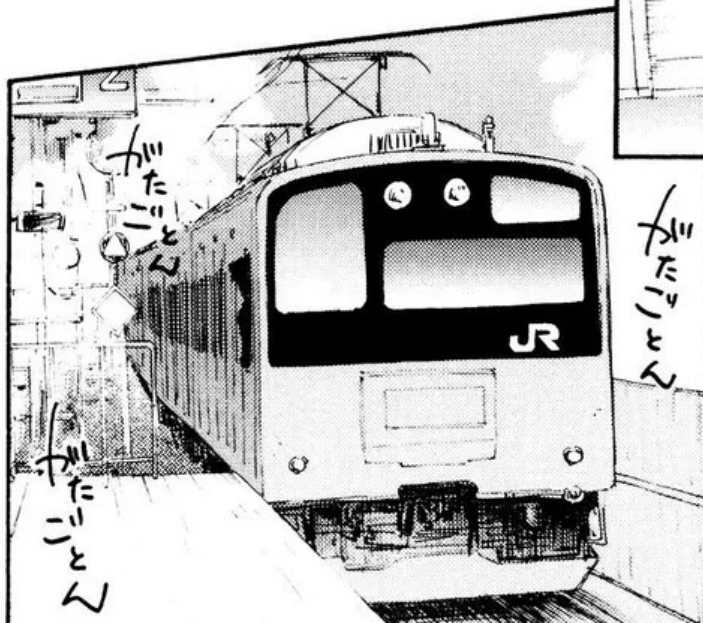
NAGISA no BUNKISEN

がたたん がたたん がたたん がたたん がたたん がたたん

いつもの
路線

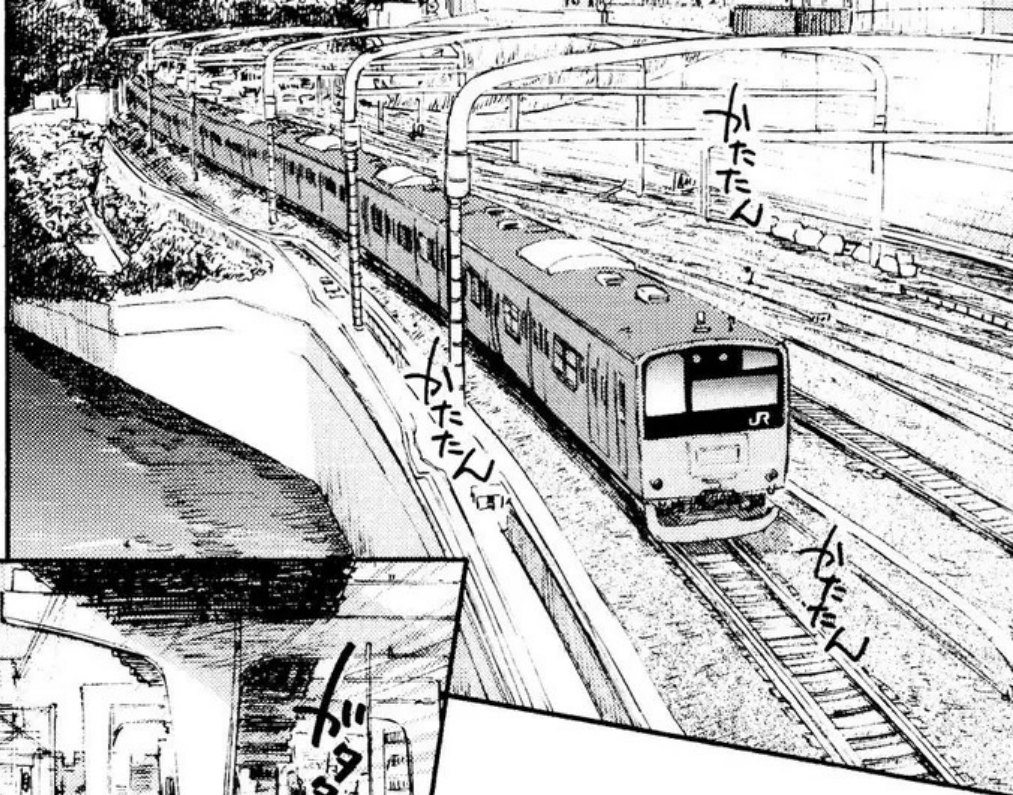


いつもの
乗り換え駅

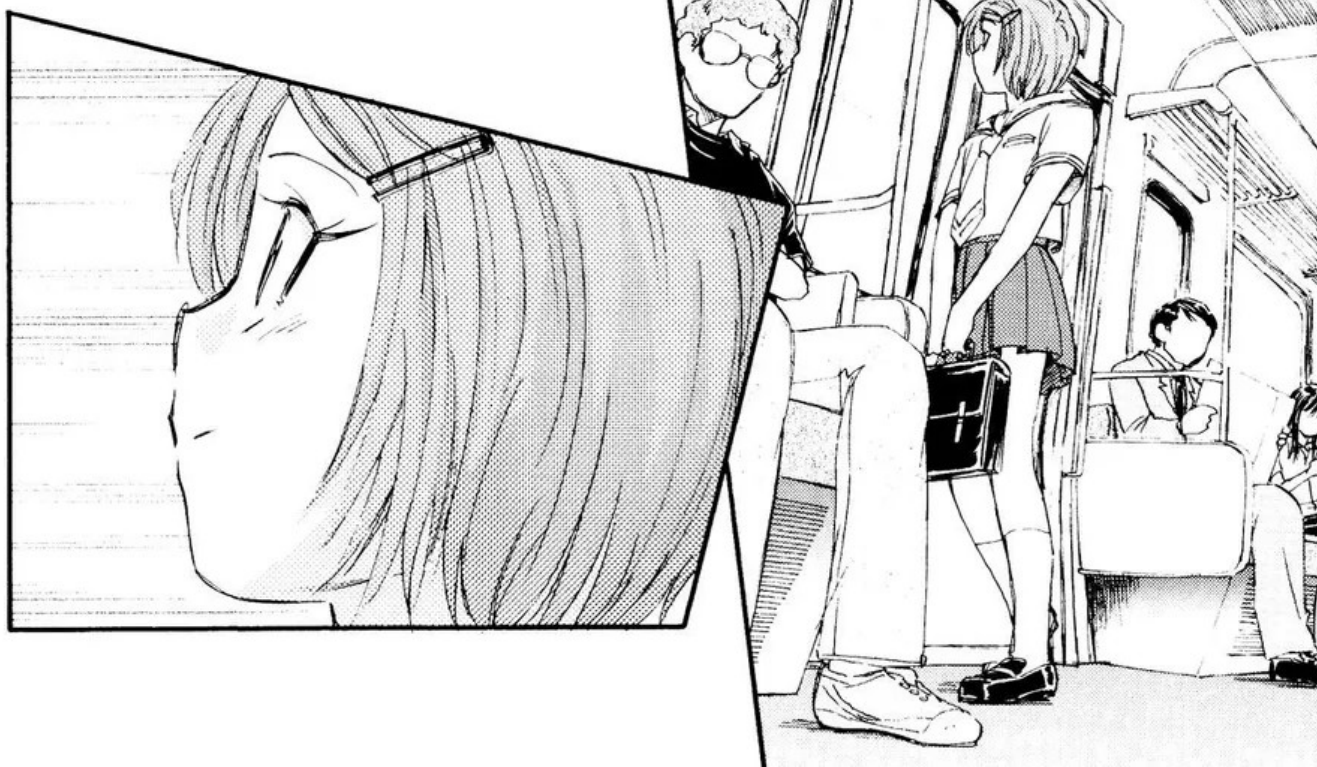


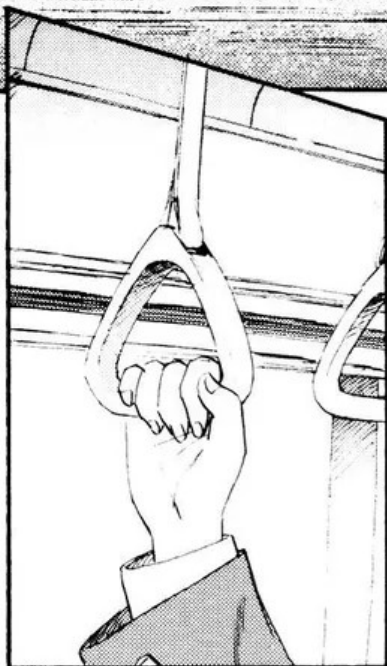
でも今日は
どうしてか
乗り換える気になれなくて――

いつもと違う
風景だ…



このまま
学校サボって
海でも見に
行こうかな…





えー次はー
×××××××
○○線△△線は
お乗り換えです



いつもと違う
知らない駅





この電車でも
こんなに混むこと
あるんだ…

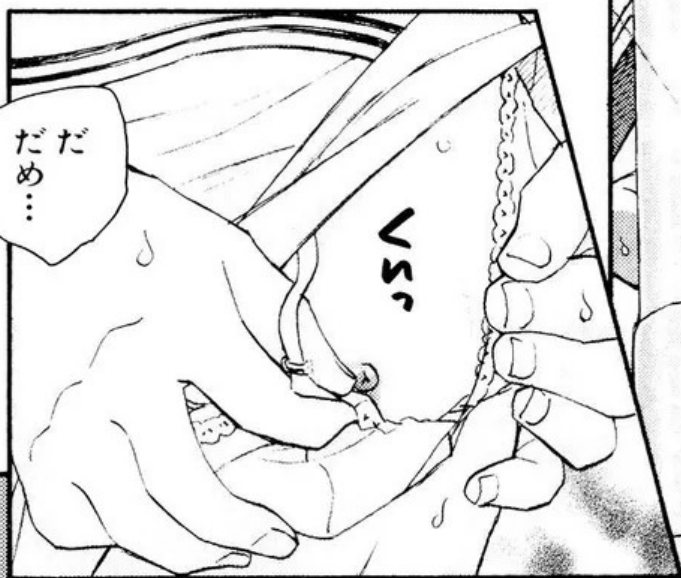




ちよちよと
—何…!?







こんなの
イヤ...!



こんなの
イヤなのに





イヤなのに
わたし—



感じてる
!?









自分から
動いちやつてる
...わたし...っ



はあっ

こんなの
初めて...!!



気持ち
いい...っ!



かたごん かたごん かたごん かたごん かたごん かたごん かたごん かたごん かたごん かたごん

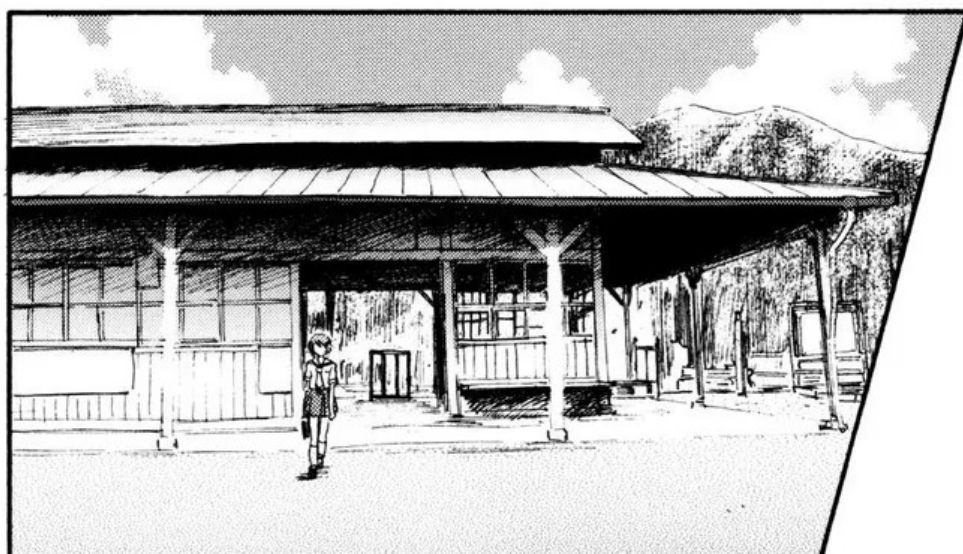
すごい...っ
すごい...っ

ききき
こころお...っ

!!

はあああつ!!







やっぱり今日は
いつもと違う日
…みたい



ちよつと
痛い…

のり
典ちゃんの
ここ…
もうおとなだね

冬を待ちながら

すぐ
なれるよ

うん

う…

ふー！

ふー！

フルフル

ぬる

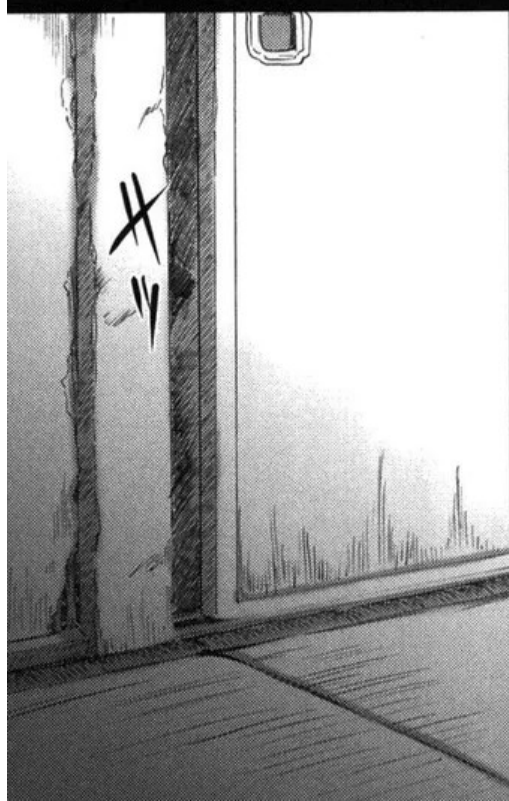
ちやう

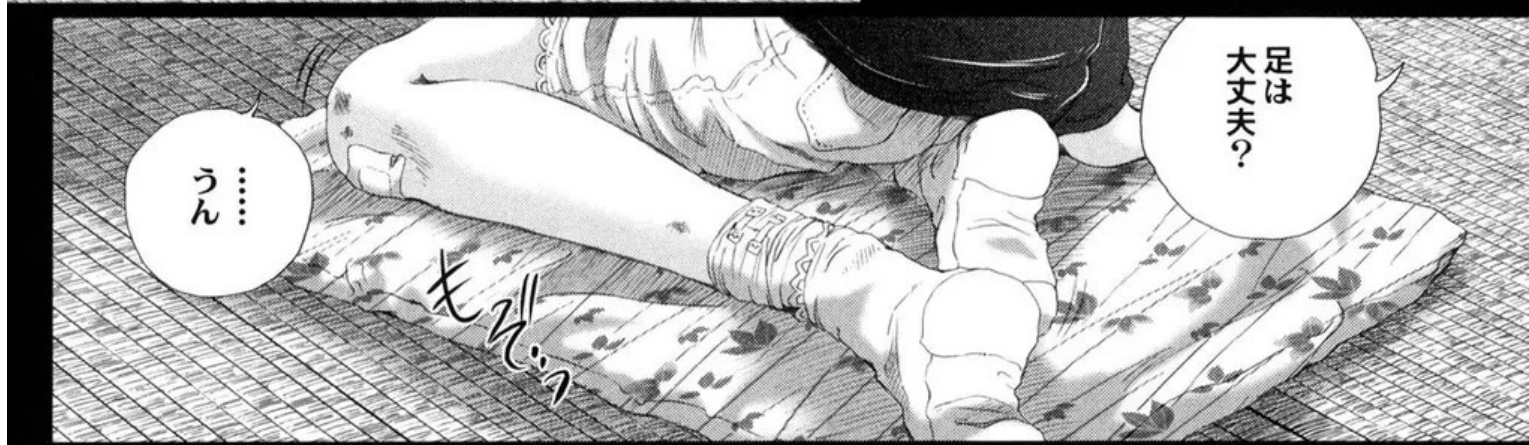
にやや

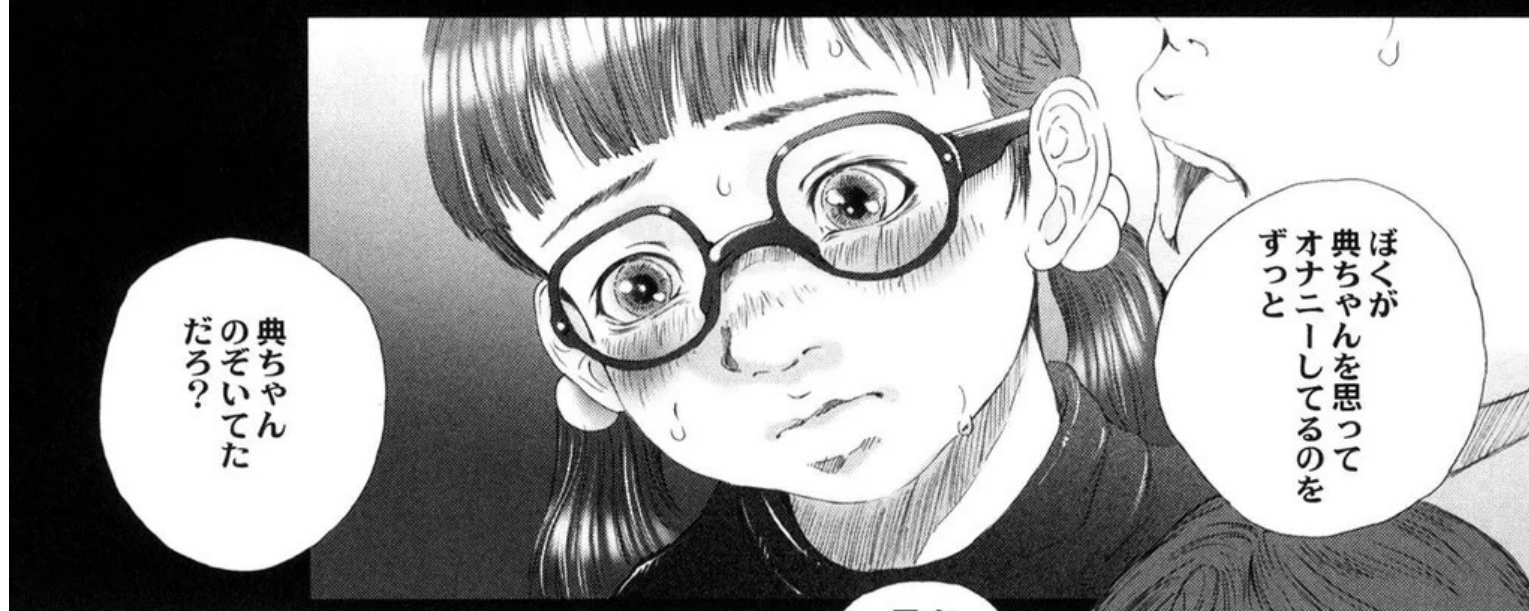












うう…っ
うまいよ
典ちゃん

はあ

そう…ううっ
根元から先まで
やさしく
こすりあげて…っ

はあ



次は…
お口に入れて
ごらん…

はあ

…そう…

ふー！

ふー！

くっ
ぽっ



!?





うう……うう
出てる……よう

はっ？

典ちゃんの
お口の中に……

いっぱい……
あああっ

ふうーっ
ごめんね
ちよっと
苦しかったろう？

はあ……

次は
典ちゃんを
気持ちよく
してあげる

はあ……

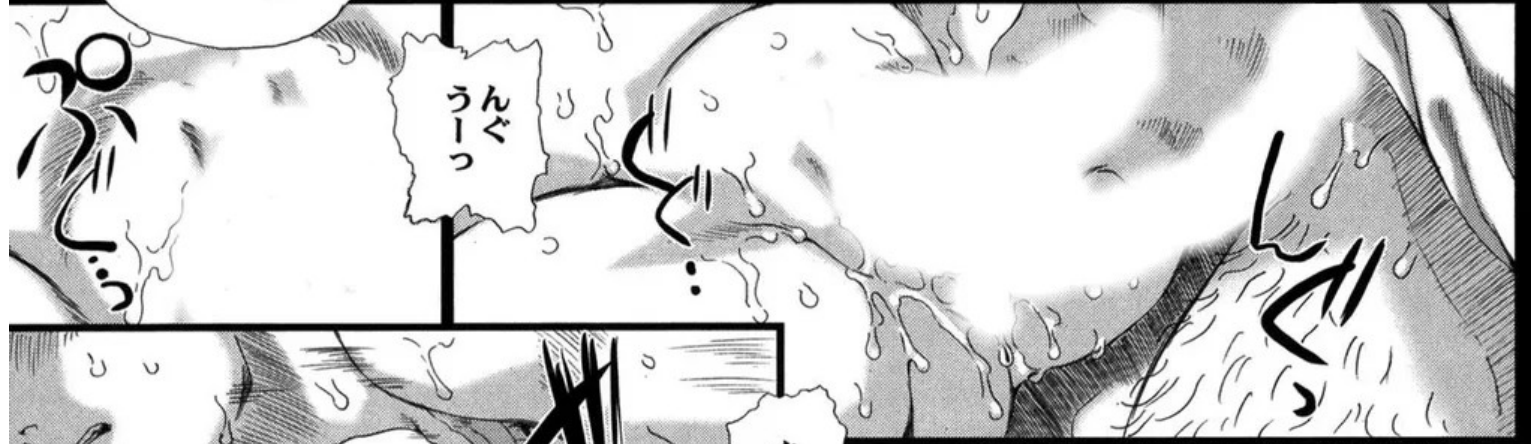
はあ……

ずぼ……

どろ……

……
……
……
……







おお…っ
すごい…
キツい…ッ

きゅん
きゅん
きゅん



やああ
あああ
あ

きゅん
きゅん
きゅん

きゅん
きゅん
きゅん



すごい…

気持ちいいよ…
典ちゃん…!!

うあッ

きゅん
きゅん
きゅん

きゅん
きゅん
きゅん

きゅん
きゅん
きゅん

きゅん
きゅん
きゅん

やあ…あッ
あああッ

気持ち
良すぎて…っ

とまらない
あああっ

あぁあぁあぁ
あぁあぁあぁ
あぁあぁあぁ

典ちゃん…
中に…っ

で
射精するよ…っ





ここまで
長かった
けど…

やっとぼくたち
恋人に
なれたね

窓…
閉めて…
…寒いよ

ああ…

もうすぐ
冬になるね

END

絵麻・ネリソンと 禁断の林檎

先日実施した
テストの答案を
返却する

え~~~~
残念なことに
今回満点の者は
いなかった

諸君には
少なからず
失望した

あの先生

先生

……
なにかね

わたしの答案
全部マルついてる
のに0点に
なってるんですけど

なぜなんですか



エマ・ヘルミオーネ
ネルソン

転入したばかりで
わかっていないようだね



この教室にいるのは
君以外貴種^{イブ}の血筋
の者ばかりなのだ

同席するだけでは
飽き足らず
彼らを差しおいて
図々しくも首席を
主張し要求するのかね?



JAPANESE
猿まねの国民の
卑しい血を引く
君が?

い...いやしく
なんかない



わたし いやしく
なんかありません



ほほう
口答えか

ではよい機会だ
エンテリク
秘教の講義を
してあげよう

エデンの園で最初の
人間の女は禁忌の
木の実を食べた

それ以来
女性器はその
木の実とそっくりの
かたち

変容したのだ

アイボリーのごとき
白く輝く肌の色と
スリットを両側から
つつむふくよかな
双丘

このような特徴を
有するのは白人の
にんげん
女兒のみなのだが

さて君は
どうかな？

われわれと同様の「人間」
だというのならさあ
脱いで証明してごらん

い…いやっ



くすくすっ



下着を
下ろせ



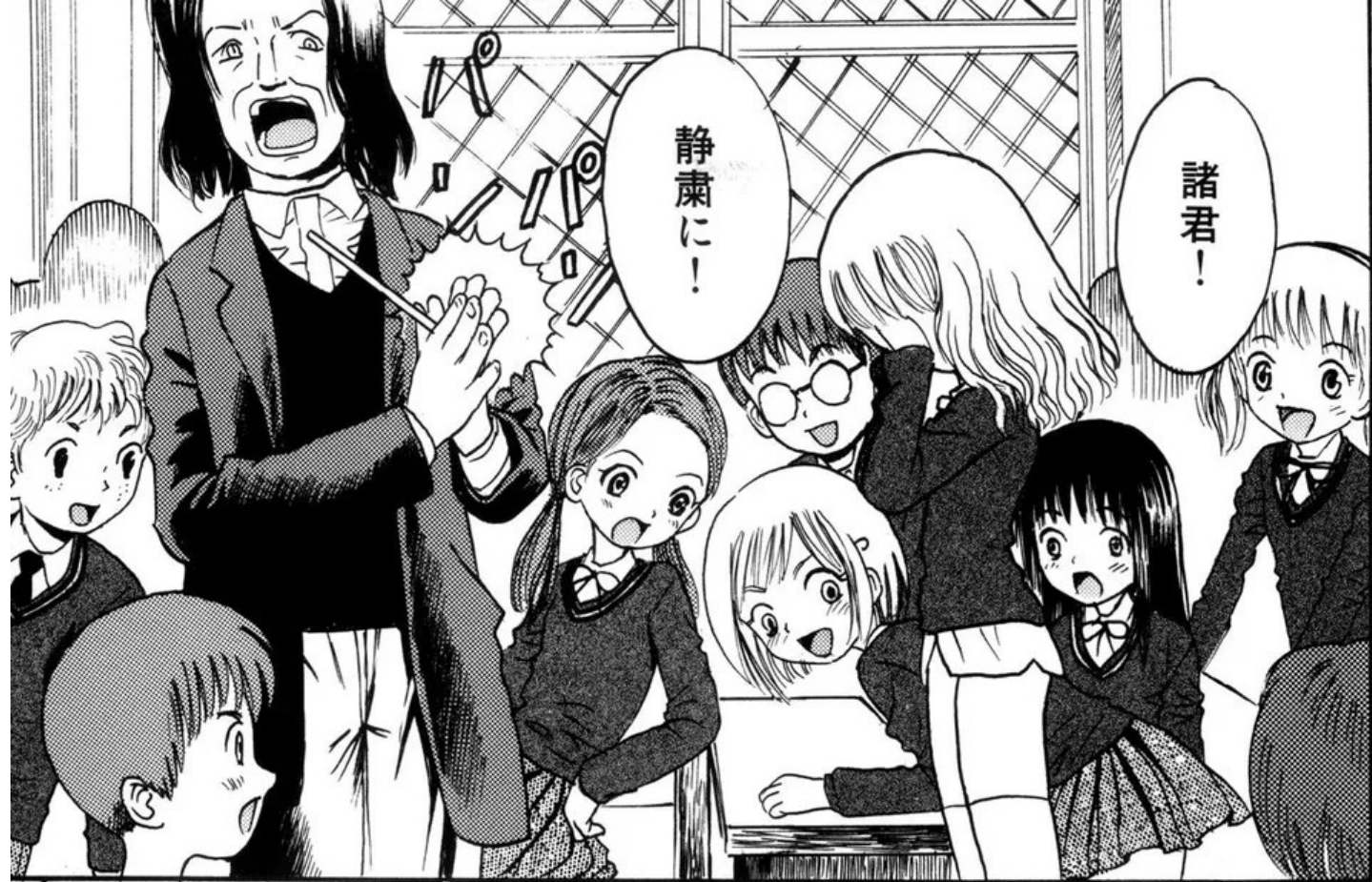
くし

.....

やだあ...



やだあ...



下賤の身にしては
美しいフォルムではある

くちゅっ

しかし中身までは
どうかな？

諸君
見えるかね

これがクリトリス
女の業罪の証だ

ヒク…ヒクッ

あっ…
やめてっ

女兒が快樂に溺れふける
ことを防ぐために
異教徒たちはこれを切除する
習慣さえある

い…いやっ…
いやさわらないで

だがヴィクトリアの貞淑なる
未来のレディたちよりも
己が優れていると主張する
君ならば

この肉芽のもたらす強烈
なる快感にも屈服する
ことはなからう？

あああ…

やめて下さ…
いやっ…いやああ

そここすん
ないでえっ

おやおや
随分と感じやすい
ようだが？

えううー

私の武骨な指
ごときでこんなに
なるとは

日頃から自慰に
ふけてている
証拠だな

先生 先生

なんかネチャネチャ
したのがどんどん
出てきまあす

ひえ~~~~



う~~~~

あっ…
いっ…

きゅああんっ

ビッ
コッ

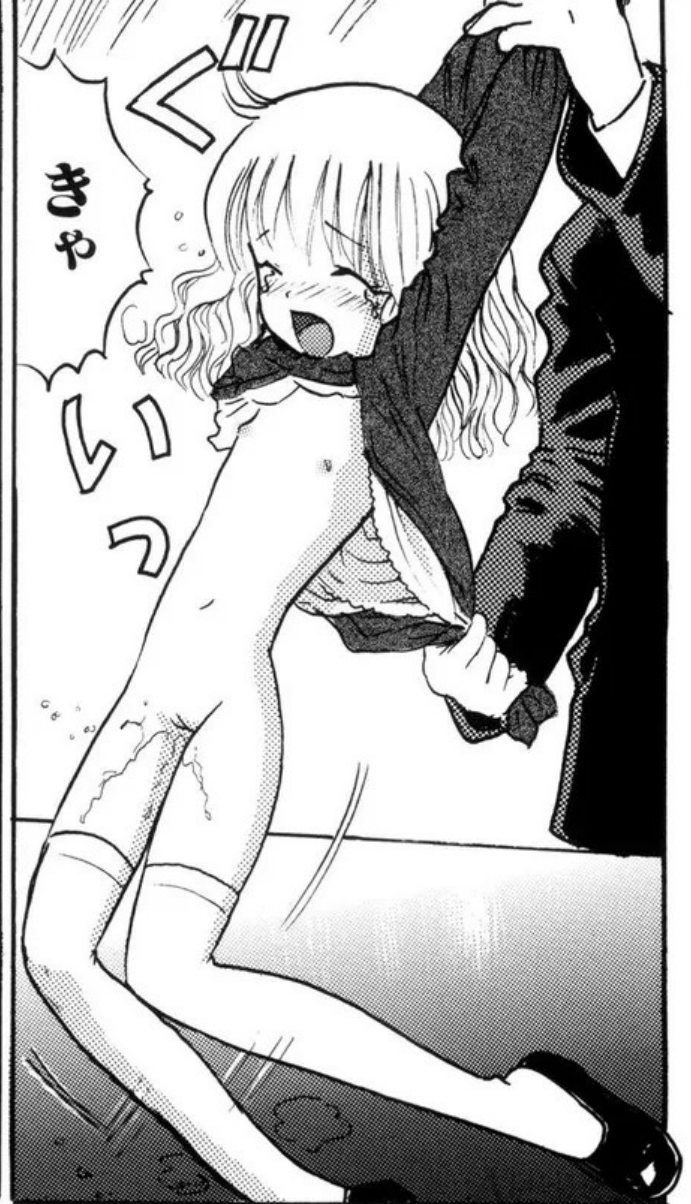
ビッ
ビッ
ビッ





エマ・ヘルミオーネ

今までにも分を
わきまえず当校に
入学した賤民は何人も
いたが

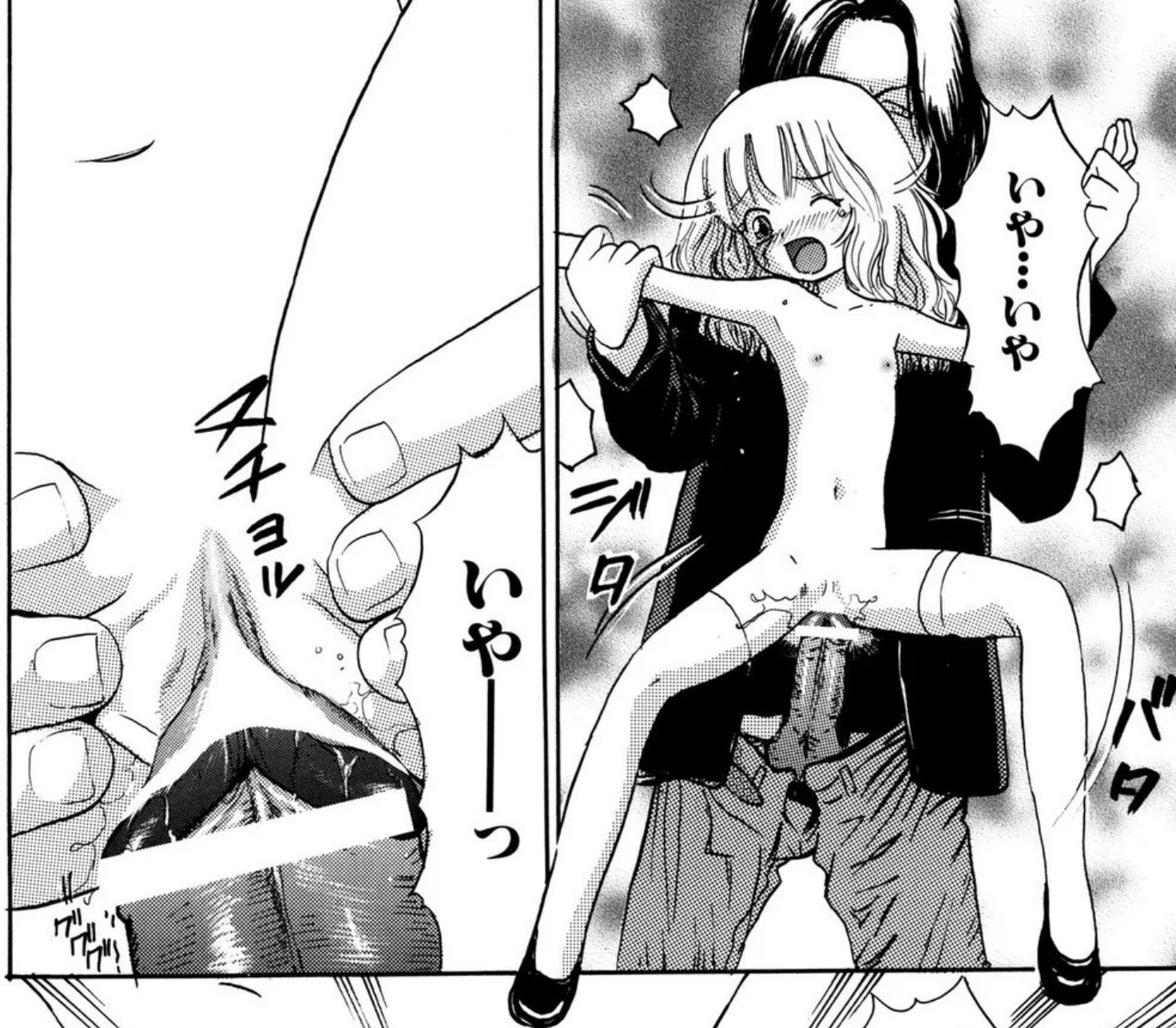


思い知らせて
やろう

おまえという
存在の卑小さを



おまえほど
強情で思い上がった
者はいなかったぞ





ひびく

ひびく

ひびく

ひびく

ひびく

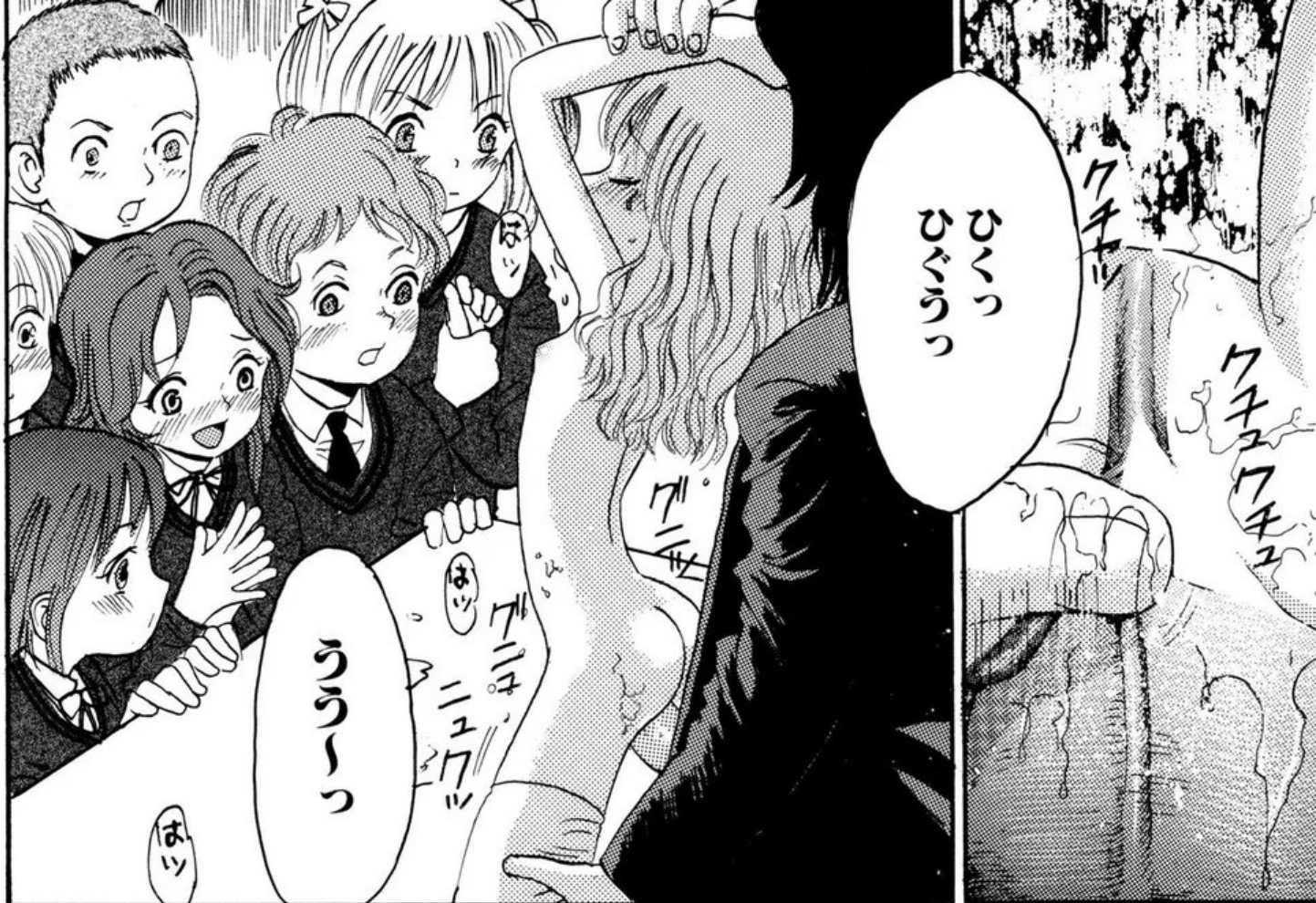
ぎゃんっ

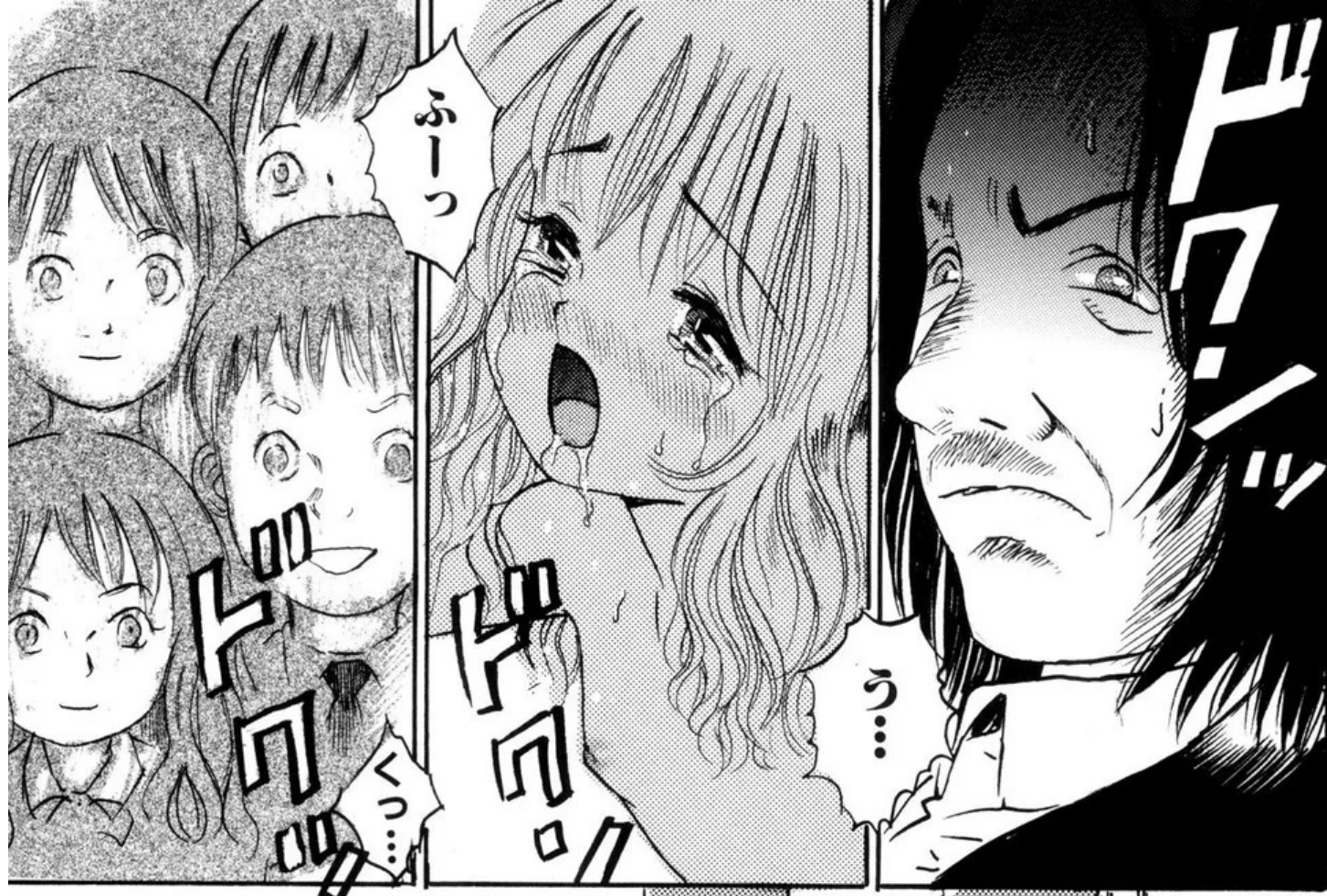
タターン

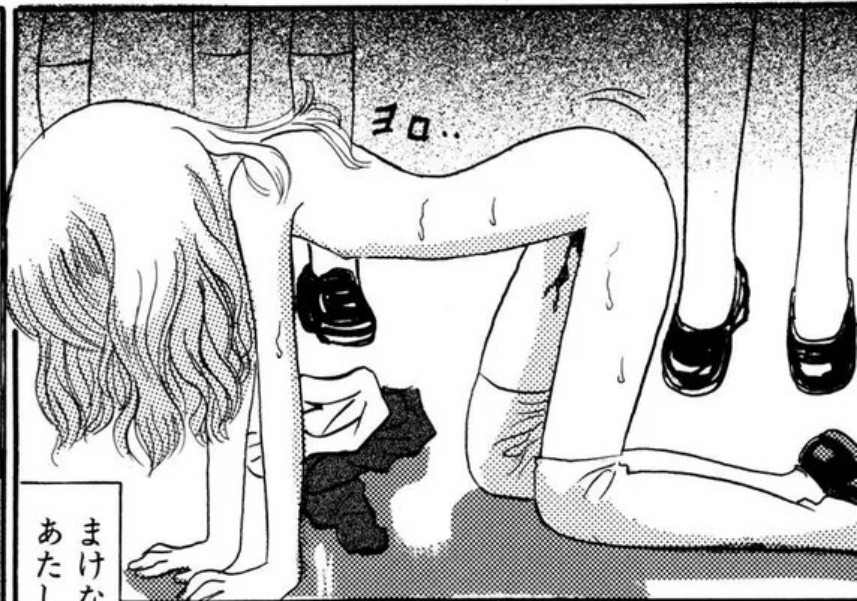
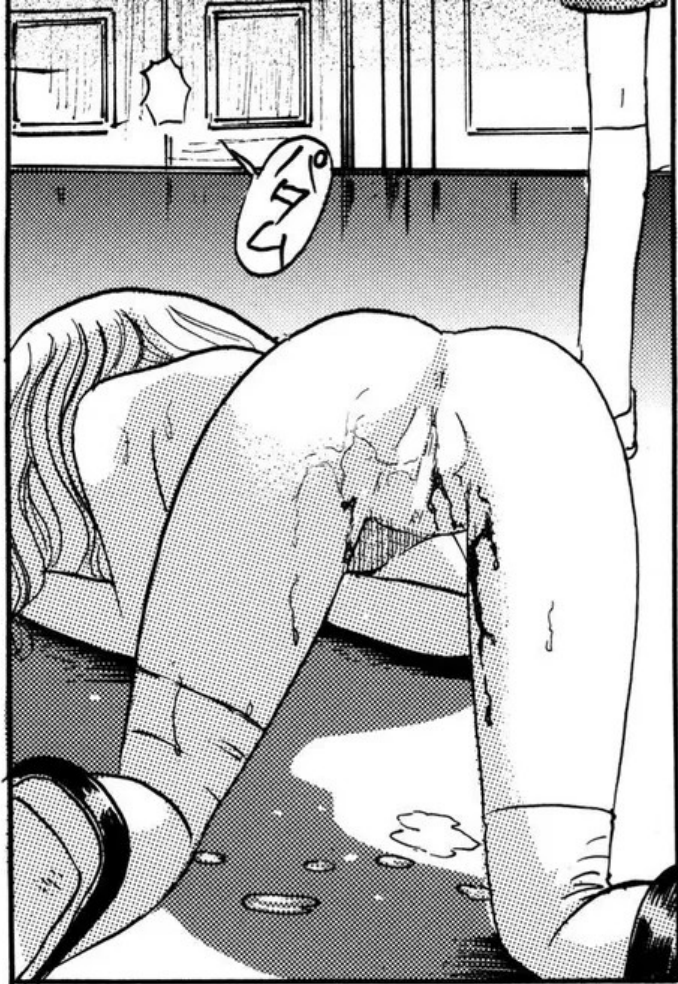
ゲイン

ゴッ

ゴッ







ぺたん娘ビッチ！

作 者 おがわ甘藍,紫色雁行,水上蘭丸,海野螢,八的暁

発 行 所 株式会社松文館
〒203-0053
東京都東久留米市本町1-5-21 7F
©おがわ甘藍/紫色雁行/水上蘭丸/海野螢/八的暁/松文館

本書の記事・画像の無断転載は固くお断りいたします。